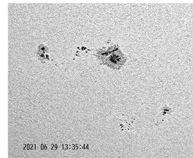
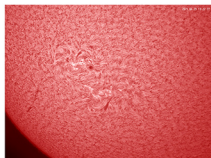
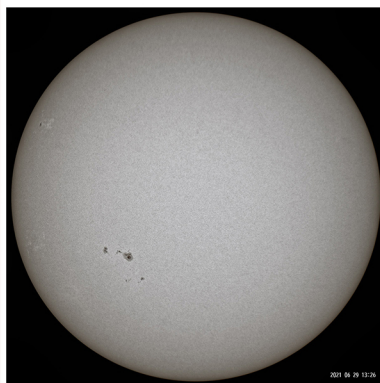
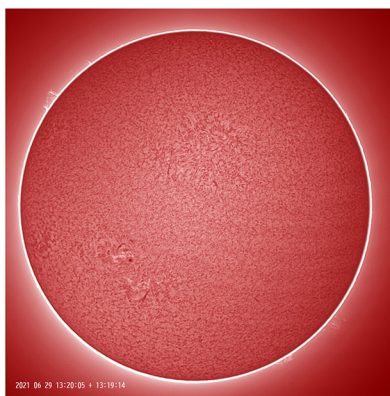


星屑

2021 年 8 月号

No. 557



2021/06/29の
太陽

2021年6月29日の太陽

LuntLS50THa QHY5L-II SKY-Watcher 90mm SONY NEX5

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

7/10(土)から 一般公開を再開します デルタ株の感染拡大防止に最大限の注意を！

芝生の広場で、社会的距離を確保しつつ「星の観察」を実施しましょう



■ 感染が下火に

4月からの感染拡大がようやく下火になりました。市や県の施設も6月末の28日（月）から再開され始めています。梅雨時期でお天気の悪い日々が続いていますが、晴れた土曜日には一般公開を再開したいと考えています。ただし、都会ではインド型の変異株（デルタ株）の感染拡大が始まっていますので、油断は禁物でしょう。

■ 社会的な距離の確保を

公開再開を期待する市民からの電話問い合わせも急増していますので、晴れた土曜日には一般公開を実施する予定です。高齢者のワクチン接種は進み始めていますが、7月に入りワクチンの供給量が減少しているらしく、64歳以下の方々への接種は滞りそうな気配。オリンピックが開催されることもあって、感染が急拡大する恐れもあります。ですから、これまで以上に十分な緊張感を保ちながら一般公開を再開しようと思います。

6/28(月)・29(火)、観測室PC2台をSSDに換装

HOST PC(CentOS)、GUI PC(Windows) とも HDDからSSDに、→ 高速起動！

観測室に設置されている2台のPC、CPUはCore i7 で、メモリーも4GB×2、あわせて8GBのデュアルチャンネルと高速仕様なのですが、残念なことにどちらも500GBのHDDが装着されていて、読み込みや書込速度が遅く、起動やアップデートには時間がかかっていました。それで、思い切ってSSDに換装しようと決めました。

Amazonのプライムデーで、価格が安くなるのを待って発注し、届いたあとすぐにクローンの作成と換装に取りかかりました。Windows PCのクローン作成はスムーズに終わりましたが、CentOS PCのクローン作成には随分時間がかかってしまい、一晩がかりでした。それでもSSD換装終了後にシステムを起動してみたら、劇的に起動やアップデートが速くなり、Windows PCの動作もキビキビしていると感じました。これで、一般公開と観測開始前の準備作業や、日常的なOSのアップデートも随分素早くできるようになるでしょう。

7/1(木)、ホームページを改訂、「公開再開準備中」に

ホームページの記載を書きかえました。外出自粛期間が長かったため、「星空観察イベント」や一般公開への期待がこれまで以上に高まっていると予測されます、一般公開を再開すると、昨年の8月に一般公開を再開したときのように80名を超える来台者がやってくる可能性が高いと思います。

それで、あえて「一般公開を再開」とはせず、「再開を準備中」という表現にとどめました。問い合わせを頂いた方々に対しては、レジャーシートや折りたたみイスを持参して下さい、住所氏名や連絡先をA4用紙に書いて持参して下さい、などと注意点を説明。また、「望遠鏡をのぞき込んでの観察はできない」こと、「野外での観察と解説になる」ことなども説明。コロナウイルスへの感染防止策を十分に実施するよう要請しています。

7/2(金)、城南図書館で「天文講座」の打合せ 図書館内には県民天文台関連の展示コーナーを開設

7/24(土)開催予定、会場を確認し内容を打合せ、展示についても意見交換



■ 7/24(土)、開催決定

新型コロナウイルスへの新規感染者数がようやく減少傾向となり、厳戒警報が解除され各種の自粛措置も適用除外になりました。市内の各公共施設も再開されて、ようやくイベントの開催も許可されることになったようです。

それで、7月24日(土)の午前中に予定されていた城南図書館主催の「天文講座」も開催が決まって、告知が始まりました。夏休みの「星の観察」に向けて、小学生を対象に「星空の観察の仕方」や「星空の楽しみ方」を解説しようという目的で企画されました。

会場は大きな開口部にブラインドカーテンしかない部屋ですから、プロジェクターやスクリーンを配置して、どれだけ暗くできるかなど現場で確認しながら、

図書館スタッフとの確認・打合せを実施し、意見交換をしました。

■ 図書室にも展示

玄関ロビーだけでなく、7月からは図書展示室内にも「熊本県民天文台コーナー」が設置されました。「星屑」や星屑の表紙を飾る天体写真の展示も行われています。併せて星に関する書籍なども揃えて、来館者の興味や関心を高めようとの企画です。

図書展示室の入口から見ると、視線に平行に天体写真などが配置されているので、パッと目に付くわけではないのが残念ですが、室内の動線確保や展示スペースの事情で制約が

あるのでしょうか。皆さん方も、城南図書館に行くことがあったら、司書さん達がいるカウンターの前を通り過ぎたところにある書架のあたりを見回してみてください。

固定資産税・法人税の減免が確定しました

それぞれの減免通知書が届きました

コロナ禍ですが、開設40周年へ、今年度も地道な活動を続けましょう

7/3(土)、障害者の就労支援施設 NPO法人えみしあ で 「七夕天文講座」七夕・夏の星座 そして宇宙

参加者からの質問に応じて解説したら、質問が続出、大いに楽しんで下さいました



■ 室内で開催 23名

7/3 (土)、10:00～ 「七夕星座講座」
七夕、夏の星座、そして宇宙

障害者就労支援施設 NPO法人 えみしあでの開催。室内での「天文講座」開催は、新型コロナウイルスの感染が始まってからは久々の開催です。参加者は、利用者16名・スタッフ4名・家族3名、合わせて23名です。

■ 準備に時間をかけて

随分久しぶりに実施する「昼間の天文講座」、対象が障害を持つ人達ということなので、機材も解説内容も、十分に事前準備をして出かけました。

「喜界島のアムリガー」など、七夕の話題の電子紙芝居も、フルハイビジョンサイズで作り直したり、新しく作ったり。事前に頂いてたいくつかの質問への解説も用意してメニューに作り込み、適宜選択できるようにしておきました。

■ 農業用マルチを持参

「会場は、窓が多くて明るく、暗くするのが難しい」と聞いていたので、農業用のマルチ(黒くて薄いビニールシート)を持参、開始時刻の1時間くらい前に到着して、窓にシートを張って部屋を暗くする作業も行いました。パソコン・プロジェクター・

ワイヤレスアンプ・撮影用のカメラ・模型など、機材を配置して終わったら、汗びっしょりになったほど、時折豪雨が降る湿りきった日でした。でも、しっかり準備をしたし安心して上演できる会場づくりもでき、落ち着いた調子で解説をできたからでしょうか、利用者さん達の反応がとても良くて、助かりました。

■ 事前に質問を集めておいた

途中で退屈されるかも、と思っていたのですが、ある程度どんなことに関心がありそうか聞き出しておいたのが良かったのでしょうか。解説を展開している間、信じられないくらい集中し続けて下さって、ひとつの解説が終わる度にいくつもの質問が出ました。おかげで、進行に行き詰まることもなく、利用者さん達もドンドン関心を深めて下さって、あっという間に予定時間を過ぎ、30分近く延長して質問に応え、無事に終了することができました。

■ 嬉しい反応

講座が終了し、片付けに取りかかってからも、感想を述べに来たり、質問をしに来てくれたり。中には、「これから星座早見を買いに行く」とか、「スマホで星を撮影してみる」という人達も居ました。

農業用のマルチ（黒色ビニールシート）を持参して、窓という窓に張り巡らせる作業もしたので、準備や撤収が大変でしたが、主催者やスタッフの方々だけでなく、参加者の方達にもとても楽しんでもらえたので、良かったです。

☆☆☆☆☆☆

これからの予定

☆☆☆☆☆☆

※ 新型コロナの感染状況により中止や延期になる場合もあります

★ 7/24(土)、**城南図書館「天文講座」**（午前中）

★ 8/9(土)、**「天体観察会」** 長洲町教委主催 20:00 ～

★ 8/11(水)、**夏の星空観察会** イーランドスポーツクラブ主催
19:30～ 美里町 元気の森 かじか で開催

☆ 9/3(金)、**フィールドミュージアム**
「夏の星空観察」 スマホで星景写真撮影に挑戦？

★ 9/11(土)、**環境センター主催**
「星空観察会」 環境センター（水俣市）で開催

☆ 10/15(金)、**フィールドミュージアム**
「月の観察」 電子観望も実施予定

ちよつと一服

Poem & Illustration

今年の梅雨は、異様に早い梅雨入りと、梅雨とは思えない晴天やら、いきなりの雷雨やら、なんだかすっきりしないお天気続き。そろそろ梅雨末期の大雨が来るか？・・・と思うとなかなか怖かったりもします。本州では大雨被害、出てしまいましたし。被害にあわれた方にお悔やみとお見舞い申し上げます。

6月から7月初めにかけて、さっぱり星空撮影どころか、星を見ることすらできませんでした。雨は降らなくても曇り空が多かったような。まあ、私が体調不良だったのと、忙しかったのもあるのですが。あ、先月号、皆既月食を間違えて皆既日食なんて書いてましたね。訂正してお詫びします。

久々に七夕がらみで撮りたいと思いつつ、時間ができた夜は全く晴れず。仕方なく、去年の夏に撮った画像を。デネブが天の川の中で目立たないのですが、織姫（ベガ）と彦星（アルタイル）はわかりやすいので、七夕としてはいいかな？と。



ディスタンス

雨をいっぱいを含んで
青竹がすっと伸びている

ながいこと 願い事をため込んで
ため込んでいることすら 忘れていた

ひらひらと風に翻る葉裏の奥の
見えない風景に描きこまれた大木
が あるあたりで
クマゼミが激しく自己主張している
まだ 梅雨は明けていないというのに

雲の上の 星空のソーシャルディスタンス
織姫も 彦星も
天の川パーテーションに隔てられたまま
きらきらと手を振りあっているに違いない

たくさんの折り紙を用意して
たくさんの短冊を用意して
ため込んだ願い事をありったけ
ひらひらと風に翻らせ天に昇らせたら
きっと



By Dio

2021年6月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 0日／4日＝0％

一般来台者数 0名

総開台日数 4日

会員来台数 4名

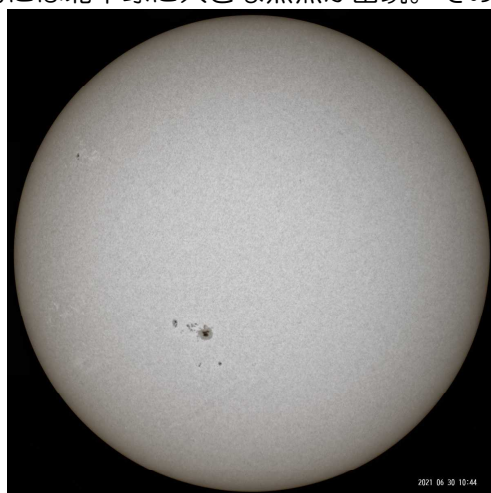
日付	天気	担当運営	来台数	記 事
1 0 日 (木)	晴れ	艶島	0人	観測室のGUIPCのWinUpdate 時間がかかりそう
1 1 日 (金)	曇り	艶島	0人	2FPCのアップデート完了
2 8 日 (月)	曇り	艶島	0人	観測室のパソコン2台をSSDに換装 WindowsPCの換装 CentOSのパソコンは持ち帰って作業します。
2 9 日 (火)	曇り 時々 晴れ	艶島	0人	CentOSのパソコンのSSD換装が完了。一晩がかりでした。制御システム一式を起動し、動作テストを実施。問題なく動いています。起動・終了ともに軽快です。 取り外したHDDはロッカー内に収納

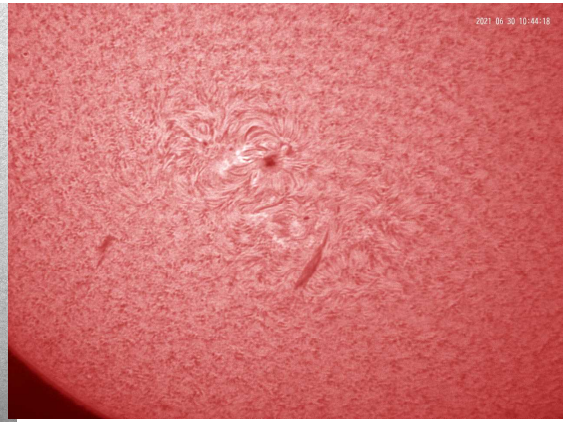
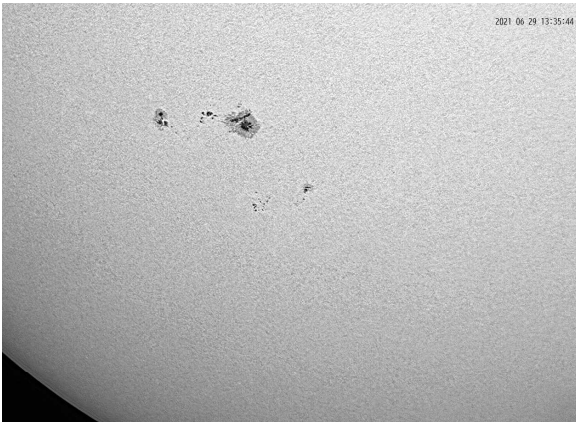
太陽が元気になってきた！！

Hige

第25周期になってずいぶん経つが、ようやく黒点がたくさん現れるようになってきた。6月後半から7月初めにかけては、ずいぶん立派な黒点が見られた。撮影していてもずいぶん楽しくなってきた。4月頃から途切れることなく黒点が観察できていたのだが、小さな黒点群ばかりだった。5月上旬はほとんど無黒点の時期があったが、5月下旬には立派な黒点が見えていた。そして、6月。中旬には北半球に大きな黒点が出現。その黒点が西に沈んだ下旬には、南半球に大きな黒点が見えた。梅雨ということで、16日しか観測できていないが、それでもなかなか楽しめた。

ところが、愛用の太陽望遠鏡LuntLS50THaのブロッキングフィルターがまた曇ってしまった。4年前に交換してもらったのだが、毎日観測するので仕方がないのかなあ。しかし、以前の記事でも書いたように、個人輸入したブロッキングフィルターがあるので、とりあえず交換して使っている。特にプロミネンス撮影の時のコントラストが上がった。ずいぶんとひどい状態だったので、仕方がないことなのだが。ただ、新しいブロッキングフィルターは有効径6mmのものなのだが、ちょうどよく見えるポイントが今までのものとは微妙にちがうので、結構苦労する。しばらくは試行





錯誤が続きそうだが、何せ梅雨空で、ほとんど撮影できないでいる。

そんな梅雨空とくれば、やはり「ぽちっと」の病が出てくるものだ。前からほしかった耕耘機をまずはゲット。人吉から運んできてもらったので、結構運送料もかかったのが痛い出費だった。でも、使ってみると、今までの小さな耕耘機と比べると作業効率が段違いだ。しかも、耕耘したあとの畑がとてもふかふかに仕上がっていて、なかなか具合がいい。嫁さんには怒られたが、サツマイモを2畝も植えてあげたので文句は言わせないぞ！今は、トウモロコシとナス、ミニトマトが毎日採れている。とくに、なすびは採れすぎて困るほどだ。トウモロコシは隣の畑の婆友と物々交換でトマトになったり、お隣の家のキュウリと交換したりと、結構大活躍中。しかし、あまりにもたくさんできすぎて、ややもてあまし中。落花生も花を咲かせ、土の中に潜り始めた。カボチャも立派に成長中。里芋も盛大に伸びているし、ヤマトイモもツルがどんどんと絡まっているところだ。



さて、お酒を飲んで気が大きくなった夜のある日。ついつい「ポチった」のがQSI 583 ws モノクロ冷却CCDカメラだ。耕耘機と同じぐらいの値段で落札。おなじCCDを使った冷却CCDカメラのATIK383L+を使ってはいたのだが、フィルターホイールの扱いが難しくてほったらかし状態だった。冷却CMOSも使ってはいるが、なんだか処理が難しい。で、昔ほんの少しの間だが使ったことのあるQSIのカメラを選んでみた次第。フィルターホイール体型でキャノンマウントになっているので、何も考えずに今までのカメラと置き換えられるのがうれしいかな。さらに、オフアキシスガイド用の前蓋もついているので、交換すればセルフガイドができる。手持ちのフィルター（Astronomik）があったので、とりあえずつけて設定は完了。問題はどのソフトを使うのかということだ。昔使っていたときにはSGProというソフトだった。フリー版はほとんど機能が使えないのだが、なかなか使いやすかった記憶がある。しかし、今回見てみるとサブスクになっていたの、これはちょっとと思ってしまった。使用期間で考えるというのもいいのだが、ちょっとね。そこで、とりあえずAPTを試してみることにした。なにせ安いので、気楽だ。いろいろと癖はあるが、とりあえず撮影できることは確認できた。問題は天気だ。早く晴れるといいのだが。

梅雨入りの早かった熊本ですが、その後、私の所ではあまり雨が降りません。6月後半には、当たり前のようにセミがワシワシ鳴いています。一瞬もう梅雨明けか？と思うような天気ですが、7月に入ると梅雨前線が戻ってくるのだとか。雨の量は例年と同じ位は降るそうなので、また梅雨末期の大雨なのかと、ちと心配しております。人吉豪雨災害から1年。今年こそは、災害の無い年になってほしいです。

☆ 8月の天文現象 & 行事 ☆

- 1日(日) 水星が外合(13:23 -2.0等 視直径5.0")
- 2日(月) 天王星が西矩(07:34 5.8等 視直径3.6")
土星がやぎ座で衝(20:20 0.2等 視直径18.6")
- 6日(金) ケンタウルス座T星が極大(5.6~8.4等 周期181日)
- 7日(土) ふたご座κ星(3.6等)の食(札幌:暗縁から出現)
立秋(りっしゅう…暑気はまだ強いが涼風吹き始め、秋の気配立つので立秋)
- 8日(日) 新月(22:50)
- 9日(月) ガニメデがエウロパを隠す(03:04.8 → 03:56.8)
- 11日(水) 細い月と金星が接近
- 13日(金) ペルセウス座流星群が極大
- 14日(土) 伝統的七夕
トークアウト(20:00~ 変更の場合あり)
- 15日(日) 月面Xが見える(20時)
- 16日(月) 上弦(00:20)
- 18日(水) はくちょう座κ流星群が極大
- 20日(金) 木星がやぎ座で衝(19:00 -2.9等 視直径49.1")
- 22日(日) 満月(21:02)
ガニメデの影にエウロパが入る(23:02.2 → 00:03.8)
ガニメデがエウロパを隠す(23:36.0 → 00:27.3)
- 23日(月) ガニメデの影にエウロパが入る(23:47.7 → 00:08.5)
処暑(しよしよ…旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く)
- 27日(金) くじら座α星ミラが極大(2.0~10.1等 周期332日)
- 29日(日) はくちょう座U星が極大(5.9~12.1等 周期463日)
- 30日(月) うみへび座R星が極大(5.9~10.9等 周期380日)
下弦(16:13)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2021年8月号 通巻557号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで